

第 29 期 報 告 書

〔 自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日 〕

事 業 報 告

計 算 書 類

貸 借 対 照 表

損 益 計 算 書

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

個 別 注 記 表

監 査 報 告 書

株式会社 NHKエンタープライズ

目 次

第29期事業報告

1. 会社の現況に関する事項	2
(1) 事業の経過および成果	2
(2) 事業の分野別の概況	4
(参考) 平成29年度　コンクール等受賞一覧	22
(3) 対処すべき課題	26
(4) 設備投資等の状況	27
(5) 資金調達の状況	27
(6) 事業譲渡・吸収分割または新設分割の状況	27
(7) 事業譲受の状況	27
(8) 吸収合併・分割による他の法人等の事業に関する 権利義務の承継の状況	27
(9) 他の会社の株式その他の持分または新株予約権等 の取得の状況	28
(10) 財産および損益の状況の推移	28
(11) 主要な事業内容	28
(12) 主要な事業所等	28
(13) 従業員の状況	29
(14) 重要な親会社および子会社の状況	29
(15) 主要な借入先と借入額	29
2. 会社の株式に関する事項	30
3. 会社役員に関する事項	31
4. 会計監査人の状況	33
5. 業務の適正を確保するための体制	34

第 2 9 期計算書類

貸借対照表	4 0
損益計算書	4 1
株主資本等変動計算書	4 2
個別注記表	4 3
監査報告書	5 3

第29期 事業報告

〔 自 平成29年4月 1日 〕
〔 至 平成30年3月31日 〕

株式会社 NHKエンタープライズ

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過および成果

平成27～29年度中期経営計画の最終年となった29年度は、「時代を切り拓くコンテンツ創造企業」という経営ビジョンのもと、各分野で新たな取り組みを積み重ねた結果、当期の売上高は史上最高の552億8千5百万円（前期比0.3%増）に達しました。一方、利益率の高いDVD事業の減収や、原価率の上昇等により、営業利益は6億6千3百万円（前期比53.6%減）、当期純利益は8億2千6百万円（前期比36.7%減）と前年度を下回り、増収減益という結果になりました。なお、NHKに対する副次収入は16億2百万円と目標の15億円を1億2百万円上回る事が出来ました。

NHK関連の業務では、今年12月に本放送が開始されるスーパーハイビジョンでの制作を加速しました。定時番組の「ダーウィンが来た！生きもの新伝説」「フランケンシュタインの誘惑」「にっぽん縦断こころ旅」などでは、2K4K一体化制作を拡大し、特集番組でも積極的に4K撮影に挑んだ結果、年間470本を超える4K番組を生み出しました。また、紅白歌合戦や平昌（ピョンチャン）オリンピック・パラリンピックでは各地で8Kパブリックビューイングを実施し、スーパーハイビジョンの社会的認知を高める事業にも力を注ぎました。

新規番組の開発も積極的に推進しました。総合テレビ「チョコちゃんに叱られる」「もふもふモフモフ」、Eテレ「オドモTV」「世界の哲学者に人生相談」などを開発番組として放送したところ、視聴者からも高い評価をいただき、若い世代や女性の視聴者層を開拓する番組として、4月からの定時化が実現しました。

放送文化の向上に寄与する大型ドキュメンタリーやドラマ番組も世に送り出しました。「NHKスペシャル・ディープオーシャン」シリーズでは、南極やマリアナ海溝などの海に4Kカメラ搭載の最新型潜水艇で迫り、世界最深での魚類撮影に成功するなど、深海の未知の世界を描きだしました。放送3年目を迎えた大河ファンタジー「精霊の守り人」は、最終章となる9作を放送したうえ、シーズン1が国際エミー賞・連続ドラマ部門の最終選考4作品にノミネートされました。また、特集ドラマ「眩（くらら）～北斎の娘～」は10月に開催されたMIPTVで4Kプレミア上映が行われたほか、第72回文化庁芸術祭でテレビ・ドラマ部門大賞を受賞し、担当ディレクターは29年度芸術選奨で放送部門の文部科学大臣新人賞に輝く

など、NEPドラマの制作力は各方面で高い評価を受けています。

さらに特筆すべき番組が、土曜時代ドラマ「アシガール」です。戦国時代にタイムスリップした女子高生を主人公とした奇想天外なストーリーが若い世代の視聴者にアピールし、NODの見逃しや特選サービスの配信で全12話がすべてランクインする週が続くという、これまでにない現象を生み出しました。ブログやツイートで「アシラバ＝アシガール・ラバーズ」という言葉を生み出すなど、放送以上にインターネット配信での評判がNHKのリーチ拡大に大きく貢献するという、次の時代への新たな可能性を切り拓いた番組です。

国際展開においても新たな展開が生まれました。中国での「いないいないばあっ！」リメイク権販売は、当初の200本から300本に増加するなど順調に推移し、上海から始まった放送は7省、21放送局に拡大しました。放送と同時に展開にも取り組み、インターネットでのぬいぐるみなどのグッズ通販も始めています。「ドキュメント72時間」の番組フォーマット販売も中国で実現し、中国最大のインターネット・サービス・プロバイダー、テンセント社に制作コンサル業務を行いました。同社は中国各地で撮影を進め、30年5月から最初のシリーズとして25分×13本のVOD配信を予定しています。

イベント関連でも記念すべき事業が続きました。8月の「ABUロボコン」は、8年ぶりの東京開催となり、ライブストリーミングでの自動翻訳による12か国語配信を実現、およそ216万の再生数を記録しました。また12月の「高専ロボコン」は30回の記念大会として有明コロシアムで開催し、生放送とあわせ7時間以上のライブ配信を実施しました。Twitterは約1,750万インプレッション、NHKオンライン、ニコニコ生放送、LINEライブなど合わせて7万以上の訪問者数を獲得しました。初の渋谷開催となった第16回「東京JAZZ」では、NHKホールでの公演以外にケヤキ並木のステージを含め6エリア9ステージでイベントを展開しました。協賛・協力企業に加え、渋谷区、地元商店街の協力も得ることで、トータルで11万6,000人の観客が訪れるなど、渋谷から世界に発信する音楽イベントとして新たな一步を踏み出しました。

こうした各分野での実績をふまえつつ、当社では30年度から32年度に向けた新たな中期経営計画を策定しました。その初年度に当たる30年度は、制作部門と

展開部門の一層の連携をはかりながら、番組の制作はもちろんのこと、映像ソフトの販売、イベント、デジタルコンテンツの制作、キャラクター展開、そして権利ビジネスなど、多方面で新たな取り組みや創意工夫を重ね、コンテンツ創造企業としての歩みを着実に進めてまいります。

(2) 事業の分野別の概況

①<放送番組制作>

ドラマやドキュメンタリー、エンターテインメント、アニメーション、語版制作など、合わせて約13,205本の番組を制作し売上高は363億22百万円でした。

番組コンクール関係では、第72回文化庁芸術祭、テレビ・ドラマ部門で特集ドラマ「眩(くらら)～北斎の娘～」が大賞、土曜ドラマ「夏目漱石の妻」が優秀賞、テレビ・ドキュメンタリー部門でNHKスペシャル「戦慄の記録 インパール」が優秀賞を獲得、他にも数多くのコンクールで受賞し、制作力の高さを示しました。

制作企画

制作本部全体のヘッドクォーターとして、事業提案を取りまとめ、番組制作に関する委託取引等を統括するとともに、新人若手社員の人材育成を進めました。また、番組制作に欠かせない、編集室などポストプロダクションの効率的なマネジメントにも取り組みました。

番組開発

幅広い視聴者層に向けた多様なジャンルの番組を企画・制作しました。

総合テレビでは、毎月全国各地から生放送する「今夜も生でさだまさし」、犬好き猫好きに喜ばれた「もふもふモフモフ」、ドラマ仕立てのスペシャルコント「志村けん in 探偵佐平60歳」のほか、NHKスペシャル「人体・神秘の巨大ネットワーク 第5集 “脳” すごいぞ！ひらめきと記憶の正体」などを制作しました。Eテレでは、「新世代が解く！ニッポンのジレンマ」「シリーズ 人間ってナンだ？ 超AI入門」「欲望の経済史～ルールが変わる時」「欲望の経済史 日本戦後編」や「ネコメンタリー 猫も、杓子も。」などに取り組みました。

BS1では「地球タクシー」や「グレートレース」「BS1スペシャル 激突！

ふたりの“世界最速男”などを制作したほか、「360°ドキュメンタリー 激流に挑む～密着！カヌー選手 羽田卓也」では疑似ヴァーチャルリアリティという、新しい試聴体験をお茶の間にお届けしました。BSプレミアムでは、新たにスタートした定時番組「美と若さの新常識～カラダのヒミツ」、特集番組として「佐野元春 ニューヨーク旅」「今夜はシャーロックナイト」「スーパーラグジュアリートレイン～豪華列車オンナ2人旅」などを制作しました。

このほか、全編英語のコントドラマ「Home Sweet Tokyo」(NHKワールド/総合テレビ)や4Kで撮影・制作した「完全版ル・マン24～最高峰レースに描く夢」などテレビの新たな可能性に挑む番組にも取り組みました。

情報文化番組

ドキュメンタリーからバラエティ、ドラマまで幅広いジャンルで年間2,000本以上の番組を制作しました。

総合テレビでは、「ファミリーヒストリー」「プロフェッショナル仕事の流儀」「所さん！大変ですよ」「震災証言 東日本大震災」のほか、「ごごナマ」「ニュースシブ5時」といった生放送番組を制作。Eテレでは、「趣味どきっ！」で「体が硬い人のための柔軟講座」「もっとディープに！カレーの世界」、特集「オリガミの魔女と博士の四角い時間」などを制作しました。「柔軟講座」は、テキストが異例の20万部を超えるベストセラーとなり、続編の制作が決まりました。

BS1では、「球辞苑」「ぼくらはマンガで強くなった」「COOL JAPAN」「超人たちのパラリンピック」、BSプレミアムでは、「世界ふれあい街歩き」「にっぽん縦断 ころろ旅」「英雄たちの選択」「岩合光昭の世界ネコ歩き」「イッピン」「二度目の旅」「TOKYOディープ」といった定時番組のほか、特番では「体感！グレートネイチャー」「アニメ100年特番」「映像の世紀プレミアム」「京都人の密かな愉しみ Blue 休業中」など、多彩なジャンルの番組を制作しました。

国際番組では、「TRAIL TO TSUKIJI」や「DESIGN TALKS PLUS」、4K8K番組にも力を入れ「にっぽん印象派」「北斎インパクト」を制作しました。「北斎インパクト」では、大英博物館の研究チームと8Kカメラで作品の細部を調査。北斎が世界にインパクトを与えた理由を解き明かし、昨今の「北斎」ブームを後押ししました。

新番組開発では「チョコちゃんに叱られる!」「世界の哲学者に人生相談」「オドモTV」を特番として制作し、30年度の定時番組に採用されました。

自然科学番組

定時番組では、総合テレビ「ダーウィンが来た!生きもの新伝説」「さわやか自然百景」、BSプレミアム「ワイルドライフ」「ニッポンの里山 ふるさとの絶景に出会う旅」の4番組を制作しました。

特集番組では、NHKスペシャル「ディープオーシャン 南極 深海に巨大生物を見た」「ディープオーシャン 超深海 地球最深部への挑戦」「列島誕生ジオ・ジャパン 第2集 奇跡の島は山国となった」を制作、大きな反響を呼び、内外で数々の賞を受賞しました。この他にも、NHKスペシャル「世紀の大発見!日本の巨大恐竜」「巨大水中洞窟を潜る 絶景オルダ“水の宇宙”」「足元の小宇宙II 絵本作家と見つける“雑草”生命のドラマ」、BSプレミアム特集「裏磐梯五色沼 中村征夫神秘の水中世界を撮る」「オーレリアンの庭 今森光彦 四季を楽しむ里山暮らし」「イヌと人 3万年の物語～絆が生んだ最強の友～」 「ジオ・ジャパン絶景列島に行く 第2・3集」、総合特集「絵葉書にない尾瀬 新井幸人が撮る神秘の湿原」など様々な自然分野の特集番組を制作しました。

12月から本放送が始まる4K8K番組制作に積極的に取り組んでいます。4つの定時番組と主な特集番組で4K一体化制作を進め、合計112本を制作。8Kについては、「北米イエローストーン 躍動する大地と命」「屋久島 空の黒潮 海から始まる命の物語」「メガシティ大発光～空から見た東京夜景～」 「超高精細映像で災害に立ち向かう」などを制作した他、第59次南極観測隊に参加して8K撮影を行う事業に取り組みました。

自主事業としては、国立科学博物館の特別展「深海2017」での展示映像制作、伊豆大島ジオパークでの4K展示映像制作などを行いました。

ドラマ番組

27年度から3年にわたる放送となる4Kドラマ・大河ファンタジー「精霊の守り人」は、最終章となる第3シリーズを制作して完結。第1シリーズが11月に国際エミー賞テレビドラマ部門グランプリ最終候補4作品にノミネートされるなど、国内外で高い評価を受け、日本のテレビドラマの可能性を広げる作品として、海外への展開も進んでいます。

総合テレビでは、ドラマ10「ツバキ文具店」、土曜ドラマ「植木等とのぼせもん」、創作テレビドラマ大賞受賞作「デッドフレイ」などを制作しました。また、土曜時代ドラマとして、高田郁原作の「みをつくし料理帖」や、「アシガール」を制作。平成の女子高生が時空を超えて戦国時代に紛れ込み、若い殿様に恋をし、足軽として活躍する「アシガール」は、若い世代に時代劇ファンを広げる話題作となりました。

特集ドラマ「眩（くらら）～北斎の娘」では、葛飾北斎の娘を主人公に、薄幸の中、絵師に徹して生きる姿を美しい映像の中に描き、29年度芸術祭大賞を受賞。さらに、NHKスペシャルドラマ「龍馬最後の30日」や、前野良沢と杉田玄白を中心に、『解体新書』を世に出すため格闘する若き医師たちの情熱を描いた三谷幸喜脚本の正月時代劇「風雲児たち～蘭学革命編～」などを制作。地上波で唯一放送される時代劇シリーズの担い手としての力を発揮しました。

BSプレミアムでは、BS時代劇として、「立花登青春手控え2」「伝七捕物帳2」「赤ひげ」「大岡越前4」などを制作したほか、BS特集ドラマとして「弟の夫」を制作。ゲイの弟を若くして失った兄と、その幼い娘、そして弟のパートナーだったカナダ人の男の3人が、心を通わせ、一つの家族になるまでの心情を丁寧に描いた「弟の夫」は、LGBTというチャレンジングなテーマも相まって、大きな話題を呼びました。

エンターテインメント番組

定時番組では、総合テレビで「みんなのうた」「〇〇〇〇の演芸図鑑」「超入門！落語 THE MOVIE」「SONGS」「ごごナマ」を制作。Eテレでは「日本の話芸」「ムジカ・ピッコリーノ」「Eダンスアカデミー」のほか「わらたまドッカ～ン」を新規受託。BSプレミアムでは「新・BS日本のうた」「ザ少年倶楽部」「クラシック倶楽部」「AKB48SHOW」「笑う洋楽展」を制作。音声波では、クラシックからジャズ、ポピュラー、バラエティに至る多様なジャンルで、ラジオファンのニーズに応える番組を継続して制作したほか、「グッチ裕三の日曜ヒルは話半分」「サカナクション・山口一郎“Night Fishing Radio”」などの番組を新規受託しました。

特集番組では、「SONGS OF TOKYO」「SONGSスペシャル」のほか

「The Covers」「The Covers' Fes. 2017」などの音楽番組、「バナナマンの爆笑ドラゴン」「漫才先生」「一・二・三！羽生善治の大逆転将棋」などのバラエティー番組のほか、多彩な大型特集番組を多数制作し好評を得ました。

スーパーハイビジョンコンテンツの取り組みも積極的に行い「Jazz From New York」「サカナクションライブ2017」「観世能楽堂 開場記念公演」「三番叟FORMII “神”化する古典芸能」など4K8Kによるエンターテインメントコンテンツ収録の実績を着実に積み重ねました。

また自主事業では、2020年に向けて日本の文化を発信していく企画として、「J-CULTURE FEST」「This is NIPPONプレミアムシアター Perfume」「都民広場プロジェクションマッピング」などのイベント制作を実施、また公共放送と10代の若者をつなげる企画として「18祭」のイベント演出を手がけるなど、未来を見据えた事業を成功させました。

国際番組

国際番組は、NHK Cosmopedia America (NCMA)、NHK Cosmopedia Europe (NCME)などの海外現地法人や、海外のプロダクション、放送局と協力して、国際的な番組を中心に制作しています。また、海外でのリサーチ、クルー派遣などの番組支援業務も、海外現地法人を通じて行っています。

定時・準定時番組では、Eテレでは、「ダイヤモンド博士の“ヒトの秘密”」12本シリーズを制作。BS1では、オリンピックに向けた「挑戦者たち」の他「エア・レース」「スポーツ・クライミング」「サーフィン」など、世界を舞台にしたスポーツ番組。BSプレミアムでは、「一本の道」「内藤大助 大いなる道を行く」「桃源紀行」など、主に紀行・冒険番組を制作。NHK Worldでは、「Direct Talk」「Global Agenda」「Inside Lens」「Anime Supernova」などを、世界に発信しました。特集番組では、「TARA号の大冒険2」、「草薙剛のニュースな街に住んでみた」(総合テレビ)、「魔法の庭・ダルメイン秋冬編」、「星付シェフの招待状」「ぐるっと赤道 3時間スペシャル」(BSプレミアム)の他、「フェイクニュースを阻止せよ」「光棍児 中国・結婚できない

男たち」「乾いた河 中国・留守児童」「世界はT O K Y Oをめざす」(B S 1)などの多彩なドキュメンタリーを制作しました。

また、国際共同制作を支援するT o k y o D O C Sへの参加や、サンダンス・NHK国際映像作家賞の事務局を担いつつ、受賞作品の「O h ! L u c y」のテレビ版制作など、幅広い活動を行いました。

アニメーション番組

総合テレビでは、「アトム ザ・ビギニング」「ザ・リフレクション」「3月のライオン 第2シリーズ」を制作しました。話題作のアニメ化で幅広い年代層に視聴され好評を得ました。

Eテレの土曜夕方は、前期に高橋留美子原作の学園・霊界ラブコメディ「境界のR I N N E」の第3シリーズ、後期には音楽をテーマにしたオリジナルアニメ「クラシカロイド」の第2シリーズを制作、それぞれ人気シリーズとして支持を得ました。

Eテレの平日夕方は、それぞれ放送開始25年、20年を迎えた長寿アニメの「忍たま乱太郎」「おじゃる丸」に加え「わしも」を制作。Eテレの中で高い視聴率を獲得しています。

また世界中で親しまれてきたキャラクターをCGでアニメ化した「ピングー i n ザ・シティ」や圧倒的な人気シリーズの新作「カードキャプターさくら クリアカード編」を制作し話題を集めました。

日本語版番組

海外ドラマでは、総合テレビの「ヴィクトリア」、BSプレミアムの韓国ドラマ「オクニョ 運命の女(ひと)」や「シカゴ・メッド」、「シャーロック4」、Eテレの「ゲーム・シェイカーズ」などの日本語吹替え版を制作しました。

海外ドキュメンタリーでは、「BS世界のドキュメンタリー」、「地球ドラマチック」 「モーガン・フリーマン時空を超えて」などの日本語版を制作するほか、BSプレミアムシネマで放送される映画の字幕制作や「東京国際映画祭」、「米アカデミー賞授賞式」の関連番組など、様々なジャンルにおいて質の高い日本語版を制作しました。

また、「ロスト北斎」、ドラマ「眩（くらら）～北斎の娘～」、「世界ふれあい街歩き」などの英語版を作成し、NHK番組の海外発信に貢献しています。

②＜映像ソフト販売＞

国内のパッケージ市場は厳しい状況が続いていますが、29年度はヒット作品にも恵まれ、一定の成果を挙げることができました。

(株)NHKエデュケーショナルの協力により「おかあさんといっしょ」関連商品が好調でした。「最新ソングブック わらうおばけ」「メモリアルPlus（プラス）～あしたもきつとだいせいこう～」 「かぞえてんぐといっしょにかぞえよう！」がヒット作となりました。

大河ドラマでは「おんな城主 直虎」、連続テレビ小説では「ひよっこ」「わろてんか」を発売。「精霊の守り人 シーズン2」「京都人の密かな愉しみ」「運命に、似た恋」「私が初めて創ったドラマ 怪獣を呼ぶ男」「ツバキ文具店～鎌倉代書屋物語」「みをつくし料理帖」「夏目漱石の妻」などの新作、韓国ドラマは「オクニョ 運命の人」を発売、「馬医」「奇皇后」「オレンジ・マーマレード」をコンパクト・セレクション（廉価版）にラインナップし、販売数をのばしました。

アーカイブス・ドラマは、「イキのいい奴」「風の隼人」「毛糸の指輪」などを商品化しました。

ドキュメンタリー関連では、NHKスペシャル「ディープ オーシャン」「奇跡のパンダファミリー」のほか、ノーベル文学賞受賞により「カズオ・イシグロ 文学白熱教室」などをリリースしています。

アーティスト系はNHKのアーカイブ映像から「歌魂 北島三郎～NHK紅白歌合戦の軌跡」「河合奈保子プレミアムコレクション～NHK紅白歌合戦&レッツゴーヤング e t c . ～」「HIDEKI NHK Collection 西城秀樹 ～若さと情熱と感激と～」を発売し好評を得ています。

教育現場にむけて、「新・ざわざわ森のがんこちゃん」「Why！？プログラミング」なども発行しました。

新規発行ディスク数は、トータルで921ディスク（昨年822ディスク）となりました。

③<イベント事業・ソフト制作>

イベント

スタートから30年を迎えたロボコンはアニバーサリーイヤーの盛り上がりの中で展開しました。「NHK学生ロボコン」は6月11日に大田区総合体育館で開催、24チームが参加し東京工業大学が優勝。8年ぶりの東京開催となった「ABUロボコン」は8月27日、大田区総合体育館で、18の国と地域から参加したチームが日本の伝統的遊戯「投扇興」をモチーフとする「The Landing Disk」で競い、ベトナムのラクホン大学が優勝を飾りました。30回目の「高専ロボコン」は地区大会が全国8会場で実施され、優勝校、推薦校による全国大会は、12月3日に東京の有明コロシアムで開催、総合テレビで生放送されました。優勝は北九州高等専門学校、大分工業高等専門学校がロボコン大賞に輝きました。

16回目の「東京JAZZ」は、初めてメイン会場をNHKホールに移して開催しました。NHKホール“the HALL”では、豪華アーティストによる夢の共演を。代々木公園ケヤキ並木で展開した“the Street”では、世界各国から来日したアーティストの演奏を自由なスタイルで。またWWW、セルリアンタワー能楽堂など特色あるステージでも演奏を間近に楽しんでいただきました。初めての渋谷での開催を記念して、東急・東京メトロ渋谷駅でのコンサートや渋谷センター街でJAZZパレードも繰り広げ、渋谷の街に広がるJAZZフェスティバルとして新しい展開を実現しました。NHKホールでの公演はBSプレミアムとFMで放送されました。

東京2020公認教育プログラムとなった「なわとびかっとなわとび王選手権」は、決勝大会を10月22日、東京で実施。予選を勝ち抜いた4校が「8の字跳びタイムアタック」を競いました。北海道札幌市の清田緑小学校が優勝、決勝大会の様子は総合テレビで放送されました。

人気の2.5次元ミュージカル「ミュージカル 忍たま乱太郎」第8弾は、東京・大阪での公演に加え、地方公演や「学園祭コンサート」も実施し各地で好評を博しました。30年1月には第9弾もスタートしました。

医療や支援にあたる専門家と当事者がステージで語り合うフォーラムも、がん、認知症など多くの方が関心を持つテーマを掲げ、10か所を超える地域で開催しました。28年度からスタートした「ヒザから健康フォーラム」では治療法や症状と

向き合う生き方について語り合い、2回で約1,800人にご来場いただきました。

日本科学未来館で開かれた「MOVE生きものになれる展」の制作に参加、動物たちの生態を子供たちが「体感」できる新しいタイプの展示を企画・制作し、開催期間4か月でおよそ20万人の来場者を集めました。

展示事業

「おんな城主 直虎 大河ドラマ館」（静岡県浜松市）を制作したほか、『国宝・彦根城築城410年祭「おんな城主 直虎」スペシャル企画 大河ドラマに見る井伊家』（滋賀県彦根市）、「えさし藤原の郷ロケ資料館」（岩手県奥州市）の2ヶ所で展示製作を行いました。浜松の大河ドラマ館では入場数78万人を記録しました。また新年からは「西郷どん大河ドラマ館」（鹿児島県鹿児島市）と、「いぶすき西郷どん館」（鹿児島県指宿市）、「西郷どん関連特別企画～NHK大河ドラマにみる幕末明治福井藩～（仮）（福井県福井市）」の展示を制作しています。

「ワープステーション江戸」の運営では、大河ドラマ「西郷どん」の収録等に使用されました。また、2019年大河ドラマ「いだてん」の撮影から使われる大正～昭和時代の建築物を再現したオープンセットとスタジオを新しく建設しました。

映像ソフト制作

29年12月にオープンした静岡県富士山世界遺産センター向けに4Kドローン撮影など先駆的な撮影手法を用いた2本の映像作品を制作しました。この他、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館、JR東日本・事故の歴史展示館など、多くの企業、博物館などで上映される展示映像を制作しました。

④＜番組提供＞

放送事業者への番組提供

＜チャンネル銀河＞＜AXNミステリー＞＜ファミリー劇場＞＜時代劇専門チャンネル＞＜LaLa TV＞＜日本映画専門チャンネル＞ など35チャンネルに対し、大河ドラマや連続テレビ小説、また、韓国ドラマや欧米ミステリードラマなど、合計545タイトルを提供しました。ケーブル局には、39局へ72タイトルを提供しました。

また、情報誌「ケーブル新時代」を年10回発行し、ケーブル各局への情報発信を行ったほか、全国8ヶ所で経営や番組制作などのセミナーを実施し、合計で約500名が受講しました。

VOD事業者への番組提供

<Netflix><ドコモ・アニメストア><Hulu><a uビデオパス><dTV>など、全28事業者にアニメ番組や幼児番組、また韓国ドラマなど海外番組含め186タイトルを提供しました。また、Huluと共同事業として、日本で初めて展開したトルコドラマ「オスマン帝国外伝ー愛と欲望のハレムー」は、Huluやチャンネル銀河で同時配信・放送され、視聴者から数多くの反響が寄せられました。

アーカイブス事業

ファイル化が進み4K8Kの素材も増えてくる中で、放送番組、映像・音声素材、レコード、その他関連資料をNHKアーカイブスに登録・保存する業務を的確に行うとともに、関連データの入力や添付を行うなど、コンテンツの価値を高めるためのメタデータ整備に取り組みました。今年度は特別作業として、平昌オリンピック・パラリンピックを受託し、同様にコンテンツを登録・保存した上で、競技結果データ等を入力するなどの業務を行いました。

アーカイブスに保存されていない過去番組を探し出す番組発掘業務にも取り組み、中でも昭和54年から3年間放送された人形劇「プリンプリン物語」は、大量発掘の成果を受けて、デジタル修復した上でBSでの50回の再放送に結びました。

一方で、これらを活用・公開するための業務にも取り組み、アーカイブスに保存された膨大な番組資産や映像素材を使い、総合テレビの「あの日あのときあの番組」、BSプレミアムの「プレミアムカフェ」というアーカイブス事業担当の定時番組で放送しました。また、アーカイブスの保存番組を大学等の研究者に利用していただき、研究論文等につなげるNHK番組アーカイブス学術利用トライアルのプロジェクトも進めました。さらに、こうした番組資産を川口アーカイブスやNHK各放送局等の番組公開ライブラリーで公開するための業務も行い、NHKが掲げる「保存・活用・公開」という方針の元で、正確で的確かつ積極的な業務運営を行っています。

素材提供事業

NHK素材の外部提供は提供件数・売上額とも前年度を上回る結果となりました。平昌オリンピック・パラリンピックが開催された影響で、民放各局からのスポーツ分岐映像の使用件数は、前年を40%上回りました。

米国Getty Images社のインターネットサイトを通じての映像クリップ提供事業も前年を上回る実績でした。

(福)NHK厚生文化事業団、(公財)放送番組センター、(福)聴力障害者情報文化センターの3公益団体への番組提供も例年通り行っており、番組の利活用に貢献しています。

⑤<デジタル事業>

放送・通信連携や高精細映像制作における高い技術や豊かな経験をいかして、Webサイト、データ放送、動画配信、4K8K映像制作、ビッグデータの可視化、360度映像制作などのコンテンツづくりに注力したほか、新規事業にも積極的に取り組みました。

[通信グループ]では、「NHKオンライントップページ」「NHK国際ポータル」などの基幹サイトをふくむNHKホームページ制作が、前年をやや上回る規模で受託し、また2月には平昌オリンピック・パラリンピックが開催され、「五輪ウェブ」「五輪ハイブリッドキャスト」など規模の大きい関連事業を多数担い、さらに2020東京大会へむけた新演出開発も手がけました。

29年度は、日進月歩の通信技術を放送やイベントに活用する試みが急増した年でもありました。大河ドラマ「西郷どん」のセット映像を、ハイブリッドキャストやWebサイト上で紹介したり、「カヌー羽根田卓也360度サイト」など放送番組との同時生連携にも初めて挑戦し内外の高い評価を得ました。各局向けに360度映像を活用したイベントも実施しました。さらに、同技術の応用として「羽田空港プラネタリウム」など、ドーム映像の独自事業も展開しています。こうしたVR・360度映像を軸とした事業は今後も拡大が期待され、今年度は重要なステップの年でした。

[放送グループ]では、「プレミアムシネマ」や「地域発ドラマ」の独立データ放送、「大河ドラマ」「連続テレビ小説」「境界のRINNE」「クラシカロイド」

「Eダンスアカデミー」「天テレYOU」などの連動データ放送を実施しました。また、「NHKスペシャル」や「おはよう日本」の双方向データ放送も担当し、「世界ふれあい街歩き」や「あさいち」では連動データ放送に加えてハイブリッドキャストコンテンツも制作しました。さらに、「大逆転将棋」「あけおめ！声優大集合」「シンデレラ・ネットワーク」「画のないアニメ館」など、従来にない新たなコンセプトの番組を開発しました。一方、Webやデータ放送での動画配信で培ったスキルを生かし、「8月31日の夜に。」「高専ロボコン」などでは、NHKオンラインに加えてYouTubeやニコニコ動画、LINE動画などのSNSでも動画を同時に公開するワンストップサービスを確立し、放送本線とは別の内容のコンテンツを制作してライブストリーミングしたほか、「ABUロボコン」では音声自動認識と自動翻訳を組み合わせ、「12か国語字幕」を実施するなど、2020を見すえたコンテンツ制作にも挑戦しました。

[高精細グループ]は、8K「大迫力！長岡の大花火」を2K生中継と共に制作、4Kでは独自事業としてルイ・ヴィトンのショーを滋賀県の現場からライブで全世界に届けました。展示映像では、8KではKDDIなど企業向けのほか総務省からの委託によるバンコク日本美術展開連映像などを、4Kでは東京国立科学博物館「人体展」のコンテンツを制作しました。企業向けなどに4Kや8Kの外部提供も行いました。8Kパブリックビューイングは12月の放送開始1年前イベントのほか、紅白歌合戦や平昌オリンピック・パラリンピックなどの際に、札幌や長野、甲府、松山など全国6か所の地域放送局でも行い普及に貢献しました。4K制作支援では38件の事業で、103本の4K番組を制作してNHKのコンテンツ制作を支え、DTEではミュオン素粒子によるピラミッド透視の可視化などに取り組みました。新しい表現手法への挑戦では、放送と連動して通信で360度映像を提供する3本のドキュメンタリーを制作し高い評価を得ました。また東日本大震災特番では、消失した駅舎を生放送中にARで再現する斬新な試みに挑戦しました。

⑥<キャラクター事業>

著作権許諾事業では、こども幼児番組やアニメ番組の本格的な海外展開を開始し、「いないいないばあっ！」では番組販売と一体となったキャラクター展開で中国市場への参入を果たしました。また国内展開では、アニメ番組の「忍たま乱太郎」が

放送開始から25年、「おじゃる丸」が20年を迎えたのを機に物販催事等の活発な展開施策に取り組んだほか、原作が75周年を迎えた「おさるのジョージ」では、展覧会の開催に向けて精力的にライセンス営業を実施しました。一方、平成30年の大河ドラマ「西郷どん」では番組タイトルロゴを使用したいという要望が地元鹿児島を中心に多数寄せられ、約40社の100種近い商品に提供しました。

商品販売事業では、さいたま、大阪、名古屋、横浜の4ヶ所で開催されたこども幼児番組関連イベントの会場においてキャラクター商品の直販を実施し、自社で開発したオリジナル商品を中心に前年度を上回る売上を記録しました。

⑦<権利ビジネス>

海外の番組については、欧米ドラマ「女王ヴィクトリア 愛に生きる」「THIS IS US 36歳、これから」「シカゴ・メッド」「ゲームシェイカーズ」「SHERLOCK (シャーロック) シーズン4」「ダウントン・アビー シーズン6」、韓国歴史ドラマ「オクニョ 運命の女 (ひと)」「イニョン王妃の男」、ドキュメンタリー「アレッポ 最後の男」「大ききのヒミツ」、ライフスタイル「レイチェルのおいしい旅レシピ」、エンターテインメント「4Kライブ ノラ・ジョーンズライブ イン ロンドン」をはじめとする数多くの番組を購入し、NHK等で放送され好評を博しました。また、「オクニョ 運命の女」「女王ヴィクトリア 愛に生きる」「パーティクルフィーバー」「生命進化の謎」などのビデオグラム権を購入し、DVDを発行しました。

海外への番組販売では、ドキュメンタリーが売上全体の3割を超えました。中でも当社が制作する自然番組「ワイルドライフ」は計100エピソード以上を販売し、アジアやヨーロッパで幅広い支持を得ました。また「終わらない人 宮崎駿」は世界で関心が高く、イタリアでは劇場上映もされるなど、様々なメディアで多くの方にご覧いただきました。

ドラマ販売は、例年どおり売上の約5割を占めました。とりわけ連続テレビ小説はアジアで人気が高く、「あさが来た」「べっぴんさん」「ひよっこ」などが販売されました。アメリカでは、放送から30年あまりを経て「おしん」がVOD配信されました。

⑧<NOD事業>

NHK オンデマンド受託事業

NHK オンデマンドの権利処理・権料支払いから原盤・メタデータ制作、配信までの一連の業務を円滑に実施すると共に、各種無料配信やフルHD配信、即日配信など多様な配信サービスに対応しました。

平昌オリンピック・パラリンピックに際しては、期間中最大で通常の2倍（1日25本）の番組を配信。競技別では男子フィギュアとカーリング女子が人気を呼びました。またドラマ「アシガール」が大変よく見られ、放送後、再放送後、連日全12話が視聴ランキングベスト20にランクインしました。

29年度のNHK オンデマンドの売上は史上2位となり、これに大きく貢献しました。

また知財センターの権利情報一元化の取り組みに基づき、NOD特選ライブラリーのドラマ、NHKスペシャルなど100番組の権利情報をアーカイブスに提供しました。

⑨<受託映像国際放送等>

海外現地法人

アメリカのNCMAは、特集番組やMLB中継などの制作業務に加え、米地域でのリサーチ、機材手配などのコーディネート業務でNHKグループの番組制作をサポートしています。またアメリカ・カナダに向けて、NHK番組を中心とする編成の24時間日本語有料チャンネル「TV JAPAN」を運営し、1日平均5時間、ノンスクランブルの「邦人向け国際放送」も実施しています。一部配信先には、「TV JAPAN」の視聴者向けに、大河ドラマ、連続テレビ小説など放送で見逃した場合でも後から視聴できる「見逃しサービス」を提供しています。このほか29年度は、NHK・民放の過去の放送番組や日本映画を、インターネットを通じて視聴できるSVODサービス「dライブラリジャパン」も開設しました。

NCMEも、ヨーロッパを中心に、NHK番組の制作とコーディネート業務を行っています。29年度は「一本の道」などの定時番組制作や「ウインブルドンテニス」の中継支援のほか、「北斎」や「英国ロイヤルバレエ」など4K8Kコンテンツの取材・制作支援にも力を入れました。また「JSTV」のチャンネル名で欧州、

北アフリカ、中東の約60カ国に向けてNHK番組を中心とした24時間の日本語有料放送を展開、北米同様5時間の「邦人向け国際放送」も実施しました。またインターネットでも視聴できる「JSTV-i」サービスを、29年度は中東・北アフリカ地域にも拡大しました。

さらにタイ・バンコクのNippon Production Service Co., Ltd. (NPS) は、NHKアジア総局と連携し、ワールドTVをはじめNHK番組の取材・制作を支援したり、NEPの代理店として現地に番組を販売したりするなど、幅広い分野で業務を推進しています。

⑩<業務支援>

著作権・権料支払業務

NHK知財センター著作権・契約部との連携のもと、各種事業展開に関わる権利処理についての情報集約、管理、相談への対応およびARMA（映像コンテンツ権利処理機構）、JASRACなどの権利者団体等との調整を行い、円滑な事業展開を支援しました。また、ビデオグラム、NOD/VOD、CS・ケーブル局への提供等番組二次展開に関わる権利者への権料支払業務、NHK制作受託番組の放送料支払の審査業務、商標出願管理業務など、権利関係業務に幅広く対応しました。

権利確保サポート業務

NHK知財センター著作権・契約部からの委託により、大河ドラマ「おんな城主直虎」「西郷どん」「いだてん」、連続テレビ小説「ひよっこ」「わろてんか」「半分、青い。」などのドラマ、NHKスペシャル「人体」「メガクライシス」「あなたの家電が狙われている」や「プロフェッショナル仕事の流儀」などの定時番組を制作部門と連携して、それぞれの要請に応じ、放送及び配信、海外発信などを含む範囲で権利交渉を行い、権利を確保しました。併せて権利情報のデータ作成も行いました。

また、JAMCO（放送番組国際交流センター）よりNHKおよび民放番組の海外番組提供のための権利処理業務を受託、（一財）NHKインターナショナルより、連続テレビ小説「とと姉ちゃん」の海外無償提供のための権利処理業務を受託しました。

商品管理業務

ブルーレイディスク、DVDのプレス製造数は昨年度から10%減の約176万枚。その内、連続テレビ小説「ひよっこ」および「わろてんか」では特別単価での製造を実現し利益率の向上に貢献しました。

コンテンツ展開と連携し、商品在庫、原材料等の在庫を見直すと共に、適切な発注管理、廃棄・整理を法令等に則り行い、適正在庫の維持に努めました。その結果商品倉庫のスリム化を実現し、年間倉庫保管料の削減に繋がりました。

⑪<新規事業等への取り組み>

29年度のR&Dの取り組みとして、「子供向けAIスクールの教材開発」「音と映像がリンクする12K・VRシステム」「移動式のプロジェクションマッピング」「高精細の空間映像体験コンテンツ」などを行いました。そのほか、2020に向け「スポーツの高精細中継で、音楽ライブや応援をエンタテインメント化して組み込んだ新しいコンテンツ」や「世界に発信する大型イベント」など、高精細、VR（仮想現実）、AR（拡張現実）、360度映像などの新技術を活用した放送および放送外使用の映像表現やコンテンツ制作に挑んでいます。

⑫<リスクマネジメント、コンプライアンス、情報セキュリティへの取り組み>

リスクマネジメント及びコンプライアンスを維持運営するため「リスクマネジメント委員会」を計2回開催し、29年度の活動方針や「内部統制の整備状況の評価」についての承認等を行いました。また、各部門で作成している「業務プロセス図」から抽出したリスクに対して、今年度は新たに、対応策とその評価を実施しました。

「コンプライアンス推進強化月間」には、全社対象または部門ごとに様々なテーマの研修会を開催しました。

情報セキュリティへの取り組みとしては、29年4月に情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の定期維持審査を受け、認証の維持が認められました。また年間を通じて、様々な情報セキュリティリスクを低減する活動を推進しました。

〔内部監査部門〕は、昨年度からの3年間で全部門を一巡することを目指し、2年目の今年は、対象となる25部門のうち8部門の監査を行いました。監査結果はその都度社長に報告したうえで監査役に手交するとともに、常勤役員会にも報告し

たほか、年度末の取締役会で年間総括報告を行いました。

⑬<法務、顧客対応、システムへの取り組み>

[法務・審査部門]では、年間約4,500件の稟議(契約書)の審査を行うとともに、稟議申請処理の適正化を目指して、重要事案の稟議遅延に関する事由書の提出や締結済み契約書の格納確認を実施しました。また、各種研修において契約書の重要性、下請法違反の防止にむけた周知・徹底を図るなど、引き続きコンプライアンスの徹底に努めるとともに、各種契約書ひな型の整備・更新や契約内容の事前相談など契約締結に関して各現場の業務サポートを行いました。

[お客様相談室]への、顧客など外部からの問い合わせへの対応件数は、年間合計で3,428件(前年比99%)でした。全社に関わる問合せに対して、親切・丁寧をモットーに、正確かつ迅速な対応によりNEPの顧客満足度の向上に努めました。

[システム部門]では、業務用パソコンの利便性の向上やオフィス環境の改善(フリーアドレス化等)のために、平成29年度から業務用パソコンのWindows 10移行に合わせてNEP・LANの無線利用を順次進めています。また、統合経理システム(クライアントサーバーシステム構成)の伝票承認機能の改善や、経理業務の軽減を目的に期中監査のデータ抽出機能を開発しました。その他、各部からシステム改善・設定作業等の申請は、234件に対応しました。

「eラーニング(関連団体ITリスク調査)」では1,025名(社員及びスタッフ)の受講者に対し情報セキュリティへの意識付けの徹底に努めました。

⑭ <分野別売上高>

(単位 千円)

区 分	第 2 8 期 (28.4.1~29.3.31)		第 2 9 期 (29.4.1~30.3.31)		対前年度増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
放 送 番 組 制 作	34,904,280	63.3%	36,322,823	65.7%	1,418,543	4.1%
映 像 ソ フ ト 販 売	3,974,767	7.2%	3,573,980	6.5%	△400,787	△10.1%
イ ベ ン ト ・ ソ フ ト 制 作	5,176,382	9.4%	5,305,240	9.6%	128,858	2.5%
番 組 提 供 ・ デ ジ タ ル 制 作	3,756,856	6.8%	3,962,907	7.2%	206,051	5.5%
キ ャ ラ ク タ ー 事 業	1,194,245	2.2%	1,044,249	1.9%	△149,996	△12.6%
権 利 ビ ジ ネ ス	4,941,653	9.0%	3,845,637	7.0%	△1,096,016	△22.2%
N O D 事 業	683,156	1.2%	690,366	1.2%	7,210	1.1%
受 託 映 像 国 際 放 送	495,365	0.9%	540,444	1.0%	45,079	9.1%
合 計	55,126,704	100.0%	55,285,650	100.0%	158,945	0.3%

※構成比・増減率は小数点第二位以下を四捨五入して表示

(参考) 平成29年度 コンクール等受賞一覧

【国内コンクール】

コンクール名	部門/賞	番組および商品名など
国 内		
第25回 橋田賞	橋田賞	土曜ドラマ「夏目漱石の妻」
第58回 科学技術映像祭	科学技術教育・教養部門/特別奨励賞	スケスケ大図鑑 「メタモルフォーゼ カブトムシ」
第16回 放送人グランプリ	第3回 大山勝美賞	吉田 照幸 (NEP エグゼクティブ・プロデューサー)
JPPA AWARDS 2017	VFX 部門/審査員特別賞	ダーウィンが来た! 生きもの新伝説「よみがえれ! 恐竜(1) 史上最強! ティラノサウルスの真実」
第54回 ギャラクシー賞	テレビ部門/ギャラクシー大賞	「ある文民警察官の死～カンボジアPKO23年目の告白～」
第54回 ギャラクシー賞	テレビ部門/奨励賞	証言記録・東日本大震災 第54回「福島県南相馬市～原発バス避難 試練の2週間」
第54回 ギャラクシー賞	テレビ部門/奨励賞	ETV特集「武器ではなく命の水を～医師・中村哲とアフガニスタン～」
第54回 ギャラクシー賞	テレビ部門/奨励賞	爆走風塵～中国・激変するトラック業界～
第54回 ギャラクシー賞	テレビ部門/奨励賞	土曜ドラマ「夏目漱石の妻」
第54回 ギャラクシー賞	テレビ部門/奨励賞	新春スペシャルドラマ「富士ファミリー2017」
第54回 ギャラクシー賞	テレビ部門/奨励賞	ETV特集「人知れず 表現し続ける者たち」
第54回 ギャラクシー賞	テレビ部門/奨励賞	幸せなら手をたたこう～名曲誕生の知られざる物語～
第54回 ギャラクシー賞	テレビ部門/奨励賞	シリーズ江戸川乱歩集Ⅱ 妖しい愛の物語「人間椅子」
第54回 ギャラクシー賞	テレビ部門/奨励賞	シリーズリアルサウンドが伝える世界「殺人者34万人の帰郷～ルワンダ虐殺22年目～」
第54回 ギャラクシー賞	テレビ部門/奨励賞	BS1スペシャル「ザ・リアル・ボイス“ダイナー”からのアメリカの本音が聞こえる PartⅡ」
第54回 ギャラクシー賞	テレビ部門/奨励賞	認知症 とともに新しい時代へ ドキュメンタリードラマ「母、立ちあがる」
第43回 放送文化基金賞	テレビドラマ番組部門/最優秀賞	NHKスペシャル「ある文民警察官の死～カンボジアPKO23年目の告白～」

第43回 放送文化基金賞	テレビドラマ番組部門/優秀賞	土曜ドラマ「夏目漱石の妻」
第43回 放送文化基金賞	テレビドラマ番組部門/【個人賞】演出賞	土曜ドラマ「夏目漱石の妻」 柴田 岳志/榎戸 崇泰(NEPエグゼクティブ・ディレクター)
第43回 放送文化基金賞	テレビエンターテインメント番組部門/最優秀賞	ザ・プレミアム「寅さん、何考えていたの? 渥美清・心の旅路」
第7回 衛星放送協会オリジナル番組アワード	ドキュメンタリー部門/最優秀賞	BS1スペシャル「爆走風塵～中国・激変するトラック業界～」
第33回 ATP賞テレビグランプリ	テレビグランプリ受賞	BS1スペシャル「原爆救護～被爆した兵士の歳月～」
第33回 ATP賞テレビグランプリ	ドキュメンタリー部門/最優秀賞	BS1スペシャル「原爆救護～被爆した兵士の歳月～」
第33回 ATP賞テレビグランプリ	ドキュメンタリー部門/優秀賞	BS1スペシャル「チャイナ・ブルー ある企業家の記録」
第33回 ATP賞テレビグランプリ	ドキュメンタリー部門/優秀賞	ETV特集「武器ではなく命の水を～医師・中村哲とアフガニスタン～」
第33回 ATP賞テレビグランプリ	ドキュメンタリー部門/優秀賞	リアルサウンドが伝える世界「殺人者34万人の帰郷 ルワンダ虐殺22年目の“声”」
第33回 ATP賞テレビグランプリ	ドキュメンタリー部門/優秀賞	ザ・プレミアム「時空超越ドキュメンタリードラマ 江戸城無血開城」
第33回 ATP賞テレビグランプリ	情報・バラエティ部門/奨励賞	超入門! 落語 THE MOVIE「初天神」、「饅頭怖い」
第33回 ATP賞テレビグランプリ	情報・バラエティ部門/奨励賞	「おかしな男」渥美清・寅さん夜明け前
第33回 ATP賞テレビグランプリ	ドラマ部門/優秀賞	BSプレミアム スーパープレミアムドラマ「漱石 悶々 夏目漱石最後の恋 京都祇園の二十九日間」
第33回 ATP賞テレビグランプリ	ドラマ部門/奨励賞	プレミアムよるドラマ「嘘なんてひとつもないの」最終回 見たこともない空
第33回 ATP賞テレビグランプリ	総務大臣賞	大河ファンタジー「精霊の守り人」第4回 決戦のとき
第44回 伊藤熹朔賞(テレビ日本美術家協会)	本賞	大河ファンタジー「精霊の守り人Ⅱ 悲しき破壊神」映像デザインチーム
平成29年度優秀映像教材選奨	高等学校部門/最優秀作品賞	DVD 映像セレクション家庭基礎・家庭総合 子供の発達と保育 第4巻 こどもとかかわって生きる
平成29年度優秀映像教材選奨	高等学校部門/優秀作品賞	新 家庭科ベストセレクション災害から命と暮らしを守る
第3回 ジャパン・ツーリズム・アワード	海外領域メディア部門/審査委員会特別賞	BSプレミアム「世界ふれあい街歩き」

2017年 東京ドラマアワード	特別賞	大河ファンタジー「精霊の守り人Ⅱ 悲しき破壊神」
先進映像協会 ルミエール・ジャパンアワード 2017	【Inter BEE 2017 TV】 先進映像協会 日本 部会 グッドプラクティ ス・アワード	8KVRライド「東京 VICTORY」
第19回ヤング映像クリエーターを励ます賞	優秀賞	後藤遷也(NEPプロデューサー) 受賞作品「BS1スペシャル 失われた大隊を救出せよ～米国日系人部隊『英雄』たちの真実～」
2018 エランドール賞	エランドール賞 特別賞	「精霊の守り人」制作チーム
第72回 文化庁芸術祭	テレビ・ドラマ部門/大賞	特集ドラマ「眩(くらら)～北斎の娘～」
第72回 文化庁芸術祭	テレビ・ドラマ部門/優秀賞	土曜ドラマ「夏目漱石の妻」
第72回 文化庁芸術祭	テレビ・ドキュメンタリ 一部門/優秀賞	NHKスペシャル「戦慄の記録 インパール」
第68回 芸術選奨	放送部門/芸術選奨 文部科学大臣 新人賞	加藤 拓(NEP)「眩(くらら)～北斎の娘～」の 成果に対して

【国外コンクール】

コンクール名	部門/賞	番組および商品名など
国 際		
第 18 回 ワールド・メディア・フェスティバル	ドキュメンタリー部門: グローバル問題カテゴリー / インターメディア・グローブ金賞	ETV特集「武器ではなく 命の水を～医師・中村哲とアフガニスタン～」
第 18 回 ワールド・メディア・フェスティバル	エンターテインメント部門: ミュージッククリップカテゴリー / インターメディア・グローブ銀賞	BLENDS
第 23 回 上海テレビ祭	最優秀アニメーション賞	龍の歯医者
第 50 回 アメリカ国際フィルム・ビデオ祭	エンターテインメント部門: ドラマティックコメディカテゴリー / シルバー・スクリーン賞	超入門! 落語 THE MOVIE「お菊の皿、紙入れ」
第 50 回 アメリカ国際フィルム・ビデオ祭	エンターテインメント部門: ドラマカテゴリー / クリエイティブ・エクセレンス賞	土曜ドラマ「逃げる女」 第1話 無実の傷あと
第 26 回 中国金鶏百花映画祭	外国映画部門・選奨	映画「紅い櫛」～富岡製糸場物語～
第 15 回 マツァル国際ネイチャーフィルムフェスティバル	高評価賞 (Highly Commended Diplomas)	REALM OF THE SPIRALED EGGPORT JACKSON SHARK ワイルドライフ「オーストラリア東海岸 ネコ顔のサメ 奇妙なネジ型卵の謎に迫る！」
オタワ国際アニメーション映画祭	観客賞 未就学児部門 / 審査員特別賞	プチプチアニメ こにぎりくん #3 うんどうかい
ABU賞	テレビ: ABU の視点部門 2017年のテーマ NEW HOME / 奨励賞	ETV特集「人知れず 表現し続ける者たち」
国際アート・建築ドキュメンタリー映像祭	建築部門 / 最優秀ドキュメンタリー	闘う建築家 安藤忠雄
第 13 回 シアトル子ども映像祭	子ども審査員 (11歳以上) 部門 / クリエイティブ特別賞	ビーだま・ビーすけの大冒険スペシャル! ～黒玉軍に気をつけろ～
第 54 回 シカゴ国際テレビ賞	テレビ部門: アニメシリーズ / 銀ヒューゴ賞	ピングー in ザ・シティ
第 5 回 グリーンイメージ国際環境映像祭	グリーンイメージ賞	NHKスペシャル「森の王者ツキノワグマ ～母と子の知られざる物語～」

(3) 対処すべき課題

平成30年度は、新たに策定した中期経営計画の初年度となります。この中期経営計画では「SHIBUYAから“世界”へ」をキャッチコピーに、3つのビジョンと8つの具体的な重点目標を設けることで2020年までの3年間に当社が目指す方向を示しました。今年度はこの計画を着実に実行に移し、NHKグループの中で当社が求められる役割を着実に果たしていきたいと考えます。特に計画の一つの目玉である制作と展開の一体化、展開プロデューサーの配置については、コンテンツの多彩な展開に向けて迅速に体制を整備したいと考えます。そして、12月に開始される4K・8K放送に向けて各分野で高品質な番組やコンテンツを開発、制作し、世界市場へのアピールを図っていく考えです。また、通信における5G時代に向けては新たな事業の開発も課題となるでしょう。

ワープステーション江戸における大正・昭和セットの確実な施工とその運用も経営的には重要な課題です。NHKの要請を受けての大きな投資ですが、外部利用の拡大、その他有効活用を含めた着実な運用による資金の回収が求められています。

イベント事業では、渋谷で2年目の開催となる「東京JAZZ」、さらには「全日本なわとびかっぴ王選手権」、「ロボコン」、「忍たまミュージカル」などを通じて幅広い世代の期待に応え、NHKの接触率の拡大に貢献していきます。2020年に向けた東京オリンピック文化事業等への取り組みにも注力していきたいと考えます。その他の事業でも、権利ビジネスの強化などを通じ、国内のみならず海外にもNHKブランドの向上拡大を目指し、当社の総合コンテンツ創造企業としての本領を一層発揮していかなければなりません。

経営面では、事業環境の変化に柔軟に対応できるように、「選択と集中」を進め、強靱な体制を作らねばなりません。グループ改革の方針に基づく関連団体間の新たな統合検討に向けても、当社ならではのノウハウを生かしつつ、合意形成に向けて一定の役割を果たしていきたいと考えます。

2年目となる「働き方改革」への取り組みもさらに推進し、社員のモチベーション・生産性の向上を図りながら、健康的で楽しく働ける組織を作ることが課題です。また、コンプライアンスの徹底、リスクマネジメントの強化や環境経営の実践などに引き続き努めるほか、これからの当社を背負って立つ人材の育成に向けて新たな施策を実践していきます。

当社は、今年度も映像を核にしたコンテンツを創り続ける企業として、NHKグループの一員として、公共メディアにおける番組の充実・発展に尽くすとともに、NHKブランドの向上を目指してまいります。

(4) 設備投資等の状況

当期の設備投資総額は9億10百万円で、内容は以下のとおりです。

(単位 百万円)

資産の種類	取得価額	備考
有形固定資産 建物・構築物	49	事務所改装 ほか
有形固定資産 工具器具備品	42	パソコン、HDD等周辺機器
	30	4Kカメラ、8K再生機等
	15	事務所改装什器類
	12	その他
有形固定資産 建設仮勘定	718	ワープステーション江戸拡張工事
無形固定資産 ソフトウェア	11	国際事業システム改修
	7	動画配信システム導入費
	3	MAMシステム改修
	21	その他
計	910	

(5) 資金調達の状況

前記の設備投資の資金は、自己資金で充当しています。

(6) 事業譲渡・吸収分割または新設分割の状況

該当事項はございません。

(7) 事業譲受の状況

該当事項はございません。

(8) 吸収合併・分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当事項はございません。

(9) 他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得の状況

該当事項はございません。

(10) 財産および損益の状況の推移

(単位 千円)

区 分	第 26 期 (27 年 3 月期)	第 27 期 (28 年 3 月期)	第 28 期 (29 年 3 月期)	第 29 期 (30 年 3 月期)
売 上 高	53,736,024	54,431,758	55,126,704	55,285,650
営 業 利 益	1,250,624	566,914	1,430,932	663,820
経 常 利 益	1,405,437	778,461	1,875,122	1,186,932
当 期 純 利 益	785,232	460,673	1,304,900	826,654
1 株 当 り 当 期 純 利 益	133,225 円 71 銭	78,159 円 68 銭	221,394 円 71 銭	140,253 円 53 銭
総 資 産	26,104,112	26,519,585	26,708,229	24,949,179
純 資 産	16,512,312	16,550,598	15,681,036	14,709,095

(11) 主要な事業内容

- ①放送番組の企画、制作、購入
- ②有線テレビジョン放送事業者への放送番組の頒布
- ③映像国際放送の実施に関連する業務
- ④放送番組に係るコンテンツ等の著作物の発行、頒布
- ⑤放送に関連した催し物や公共的な各種催し物の企画、実施

(12) 主要な事業所等

本 社 東京都渋谷区神山町 4 番 1 4 号 第三共同ビル
東京都渋谷区神山町 5 番 2 0 号 神山町小川ビル
ワープステーション江戸
茨城県つくばみらい市南太田 1 1 7 6

(13) 従業員の状況

	従業員	NHK出向者等	計	増減	平均年齢
男	276名	101名	377名	+5名	51才 5か月
女	119名	17名	136名	+5名	45才 3か月
計	395名	118名	513名	+10名	49才 8か月

注1：海外、DSS、役員、NHKその他への出向者、非常勤社員は含まない

注2：契約社員は含む

(14) 重要な親会社および子会社の状況

①親会社との関係

当社の親会社は、NHKであり、当社の株式4,343株を保有しており、これは当社の議決権比率の82.17%に当たります。

当社は、NHKからの委託による放送番組などの制作と購入、有線テレビジョン放送事業者への放送番組の頒布、映像国際放送の実施、NHKの放送番組に係るコンテンツ等の著作物の発行と頒布、NHKの放送に関連した催し物や公共的な催し物の企画と実施、これらに関連する業務およびNHKが制作した番組の利用権の購入などを行っております。

②重要な子会社の状況

該当事項はございません。

③親会社等との間の取引に関する事項

当社では、親会社NHKとの取引をするにあたり、独立した第三者との間の取引と同等の条件であることを確認し、取締役会において当該取引について相当との判断を行いました。

(15) 主要な借入先と借入額

借入先	借入金残高
株式会社 みずほ銀行	50,000 千円

2. 会社の株式に関する事項

①発行可能株式総数 10,000株

②発行済株式の総数 5,894株

③期末株主数 10名

④株主

株主名	持株数	持株比率
日本放送協会	4,843株	82.17%
株式会社NHKメディアテクノロジー	178株	3.02%
株式会社NHK出版	171株	2.90%
株式会社NHKグローバルメディアサービス	168株	2.85%
株式会社NHKアート	146株	2.48%
株式会社NHKエデュケーショナル	142株	2.41%
株式会社NHKプロモーション	123株	2.09%
株式会社みずほ銀行	59株	1.00%
株式会社NHKアイテック	32株	0.54%
株式会社NHK文化センター	32株	0.54%

3. 会社役員に関する事項

(1) 役員の地位、氏名、担当、兼職の状況

地 位	氏 名	担 当	他の法人の代表または重要な兼職の状況
代表取締役社長	板野 裕爾	全体統括	
取締役副社長	高田 和昭	社長補佐、海外戦略室、特命事項	
専務取締役	佐藤 幹夫	制作本部長	
専務取締役	大路 幹生	経営企画室長	
常務取締役	中澤 庄平	ライツアーカイブスセンター長 建築管理（建設業経営管理責任者）	
常務取締役	下川 雅也	グローバル事業本部長	
常務取締役	近藤 保博	グローバル事業本部副本部長 事業開発センター長	
取締役	諏訪 雄一	グローバル事業本部 〔展開・戦略〕	
取締役	柳田 昌賢	グローバル事業本部 コンテンツ開発センター長	
取締役	安齋 尚志	制作本部副本部長 〔制作企画〕 〔情報文化番組〕 〔エンターテインメント番組〕	
取締役	押田 敦	グローバル事業本部事業開発センター 〔アニメ・ライセンス事業〕	
取締役 (非常勤)	掛川 治男		㈱NHKエデュケーショナル社長
取締役 (非常勤)	森永 公紀		㈱NHK出版社長
取締役 (非常勤)	喜安 政幸		NHK関連事業局専任局長
取締役 (非常勤)	小野木昌史		NHK編成局長
取締役 (非常勤)	佐藤 高彰		NHK制作局長
監査役	木村 弘巳	社外常勤監査役	
監査役	吉田 哲彦	常勤監査役	
監査役	古椀 裕章	社外監査役	㈱みずほ銀行 営業第十八部次長
監査役	松尾 光洋	非常勤監査役	NHK内部監査室主幹

注1：平成29年4月24日付で、若泉久朗氏が取締役を退任しました。

注2：平成29年6月27日付で、安齋尚志、押田敦、森永公紀、小野木昌史、佐藤高彰の各氏が取締役に、吉田哲彦、古椀裕章の各氏が監査役に就任しました。また同日付けで、吉田哲彦、三谷行夫、小泉公二の各氏が取締役に、荒巻優之、酒井秀晃の各氏が監査役を退任しました。

注3：社外監査役木村弘巳氏は、公認会計士の資格を有しており、財務および会計に関する相当程度の知見を有しています。監査役吉田哲彦氏は、リスクマネジメントに関する知見を有し、放送事業に高い見識を持っています。社外監査役古椀裕章氏が兼職している㈱みずほ銀行は、当社の取引銀行です。

(2) 取締役・監査役の報酬総額

区分	支給人数	報酬等の額
取締役 (うち社外取締役)	13人 (—)	142,034千円 (—)
監査役 (うち社外監査役)	3人 (1人)	23,762千円 (12,000千円)
計	16人	165,797千円

注1：上記には、当年度に退任した取締役2名および監査役1名が含まれております。

注2：当事業年度末の人員数は、取締役16名、監査役4名ですが、うち取締役5名、監査役2名は無報酬であり、上記人員には含まれておりません。

注3：報酬等の額には使用人兼務取締役の使用人分給与(52,221千円)は含まれておりません。

(3) 社外役員に関する事項

社外監査役

社外監査役のうち、木村弘巳監査役は当年度に開催された取締役会に7回出席[7回開催中]、監査役会に6回出席[6回開催中]し、当社の業務執行における適正性確保の観点から提言をしています。

酒井秀晃監査役は29年4月から6月中の在任期間中に開催された監査役会に1回出席[2回開催中]し、当社の業務執行における適正性確保の観点から提言をしています。

古椀裕章監査役は当年度に開催された取締役会に5回出席[7回開催中(就任後は5回開催)]、監査役会に4回出席[6回開催中(就任後は4回)]し、当社の業務執行における適正性確保の観点から提言をしています。

4. 会計監査人の状況

(1) 会計監査人の名称

新日本有限責任監査法人

(2) 会計監査人の報酬等

公認会計士法第2条第1項の業務に関する報酬 17,000千円

注1：当社の監査役会は、前事業年度における監査計画と実績の比較を行い、監査時間および報酬額の推移を確認し、当事業年度の監査予定時間および報酬額の妥当性を検討した結果、会計監査人の報酬について、会社法第399条第1項および第2項の規定による同意を行っています。

(3) 会計監査人の非監査業務の内容

該当事項はございません。

(4) 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

会社法第340条第1項各号に掲げられている事由およびこれに準ずる事由等を会計監査人の解任または不再任の決定根拠としております。

(5) 会計監査人の責任限定契約の内容

該当事項はございません。

備考：報告中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示してあります。

5. 業務の適正を確保するための体制（平成27年9月17日取締役会決議）

（1）当社の取締役および使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

①当社は取締役、社員を含めた行動規範として、「NHKエンタープライズ倫理・行動憲章と行動指針」を定め、これらの遵守を図っている。

また、コンプライアンスを確保するため、「リスクマネジメント委員会運営に関する規程」を定め、社長を委員長とする「リスクマネジメント委員会」を設置し、全社的に法令遵守が確保される体制をとっている。

今後さらに取締役、社員のコンプライアンスの徹底を図るため、すでに設置されている「コンプライアンス相談・通報規程」「相談・通報窓口」などを社内に効果的に周知し、適宜、法令等の遵守状況をモニタリングする。

②取締役会については、「NHKエンタープライズ取締役会規則」が定められ、その適切な運営が確保されており、定例で開催するほか、必要に応じて随時開催し、取締役間の意思疎通を図るとともに相互に職務執行を監督し、法令・定款違反行為を未然に防止している。万一、取締役が他の取締役の法令・定款違反行為を発見した場合は直ちに監査役および取締役会に報告するなどして、その徹底を図っていく。

③同様に、社長、常勤役員ほかで構成する常勤役員会については「役員規程」、執行役員については「執行役員規程」を遵守し、職務執行の法令・定款への適合を確保していく。また、監査役は、取締役の職務執行、経営機能に対する監督強化を図っていく。

④コンプライアンス関連の研修、社内報等による啓発、社員総会などによる意識づけに努め、全社的な法令遵守の一層の推進を図るとともに、「稟議規程」「経理規程」により、取締役、社員の職務執行の透明性を向上させる。

（2）当社の取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制

①「株主総会議事録」「取締役会議事録」「常勤役員会議事録」については、適切かつ確実に保存・保管され、「常勤役員会議事録」については、取締役および監査役が常に閲覧可能な状態に置かれている。

②「文書管理規程」に定められた文書の扱いを遵守することにより、取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に適正を期す。

(3) 当社の損失の危険の管理に関する規程その他の体制

①当社は、当社の事業に係るリスクとして、投資的リスク、下請法等法令違反につながるリスク、企業機密への不正アクセス・漏洩等情報セキュリティ的リスクなどを認識し、信用調査、対応マニュアルの整備等を進めている。また、公共放送グループの一員として、公金の扱いについては特に厳正を期し、万が一にも社会的な指弾を受けることのないよう注意を払っている。さらにNHKグループ全体にかかわるリスクについては、「NHKグループ通報制度規程」にもとづいて、NHK総合リスク管理室に、速やかに報告・連絡することになっている。

②新たなリスクが発生した場合には、必要に応じ、速やかに対応責任者となる取締役を定める。

(4) 当社の取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

①職務権限および職制を定め、取締役の職務権限と責任および指揮命令系統を明確にしている。

②重要な意思決定については、常勤取締役等による役員会などにより多面的に検討し、慎重に決定する仕組みを設けている。

③ITを活用した稟議システムを構築し、迅速な意思決定を図っている。

④中期経営計画およびそれを受けた年度事業計画を策定し、事業ごとの目標値を設定し、業績を把握し、適宜見直しを行っている。

⑤さらに効率的に職務を執行するために、内部統制との関係を考慮しつつ、案件に応じた職務権限の委譲を検討していく。

(5) 当社ならびにその親会社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

①当社の親会社にあたるNHKの子会社等の事業が適切に行われることを目的として、「関連団体運営基準」により、事業運営およびこれに対するNHKの指導・監督等に関する基本的事項が定められており、当社も該当している。

②NHKは、「関連団体運営基準」に関する事項およびNHKが指定する事項について、監査法人等に委嘱して関連団体の業務運営状況調査を実施し、監査法人等の報告に基き、関連団体に対し必要な指導・監督を行っており、当社も該当している。

③NHKの監査委員は、NHK役員の職務の執行を監査するため必要があるとき、当社の事業の報告を求めたり、当社の業務および財産状況を調査できることになっており、その場合には、当社は、適切な対応を行う。

④NHKは、全国民の基盤に立つ公共放送の機関として、不偏不党の立場を守って、放送による言論と表現の自由を確保し、豊かで、良い放送を行うことを目的とした法人である。

また、放送法により、NHKに対する公共的規制は、国民の代表である国会を中心として行われ、毎年度の予算・事業計画は国会での承認を要している。

NHKには、経営方針その他その業務の運営に関する重要事項を決定する権限と責任を有する経営委員会が設置され、会長等による業務の執行と監督の機能とが明確に分離され、適正なガバナンスが確保されており、業務の実施にあたっては、「NHK倫理・行動憲章」「行動指針」の策定、「通報窓口」の整備などにより、適正が確保されていると理解している。

⑤当社の子会社等については、定期的に業務報告を受けており、当社担当取締役によって、日常的にチェックが行われている。

また、子会社等のコンプライアンスについては、子会社等の社長を責任者とする体制を整備し、法令遵守にあたることになっている。

(6) 当社の監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項、当該使用人の取締役からの独立性に関する事項および当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項

①監査役からの求めがあった場合には、監査役の職務を補助すべき使用人として、当社社員から監査役補助者を任命する。監査役補助者の任命、解任、人事異動、賃金等については、監査役会の同意を得た上で、取締役会が決定する。なお、平成21年3月、監査役から求めがあったので、監査役補助者を任命している。

②監査役補助者は、当社業務を兼務することができるが、監査役より監査業務に必要な命令を受けた場合は、その命令に関して、取締役の指揮命令を受けないものとする。

(7) 当社の取締役および使用人が当社の監査役に報告をするための体制、報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制

- ①取締役または使用人は、法定の事項に加え、当社および当社グループに重大な影響を及ぼす事項の内容を、監査役にそのつど報告するものとする。
- ②監査役は、いつでも必要に応じて、取締役および使用人に対して報告を求めることができる。
- ③当社は、監査役に報告をした者に対して、その報告を行ったことを理由として不利益な取扱いを行うことを禁止する。

(8) 当社の監査役の職務の執行について生ずる費用の前払い等に係る方針に関する事項、その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

- ①監査役からその職務の執行について生ずる費用の前払い、負担した債務の弁済等の請求があったときは、当該請求に係る費用または債務が、監査役の職務の執行に必要な場合を除き、当該費用または債務を処理する。

【業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要】

①当社の取締役会は、取締役16名（うち、非常勤取締役5名）で構成されていて、社外監査役2名を含む4名の監査役も出席し、業務執行取締役から業務執行状況の報告が行われるとともに重要事項の審議・決議を行っている。

また、常勤監査役は、取締役会のほか常勤役員会等の社内の重要会議に出席するとともに、取締役から業務執行の状況について直接聴取を行い、業務執行の状況や内部統制、コンプライアンスに関する問題点を監視する体制を整備していて、経営監視機能の強化および向上を図っている。

コンプライアンスに関する取り組みの状況では、社長を委員長とする「リスクマネジメント委員会」を開催し、コンプライアンスやリスクマネジメントに関する報告や決定が行われている。また、全役員、社員等を対象とした研修活動も定期的の実施してコンプライアンスの徹底を図っている。当社の内部監査部門では、年度ごとの内部監査計画に基づきモニタリングを実施している。

【業務の適正を確保するための体制の評価】

全社的な内部統制について、「統制環境」「リスクの評価と対応」「統制活動」「情報と伝達」「モニタリング」「IT への対応」という 6 つの観点から、整備状況および運用状況の有効性を評価した。また、業務上重要なリスクを抽出した上で、必要な対応（内部統制）が実施されていることを評価した。

評価の結果、平成 30 年 3 月 31 日時点における当社の内部統制は、概ね有効であると判断した。

第29期 計算書類

〔 自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日 〕

株式会社 NHKエンタープライズ

貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位 千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	20,058,558	流動負債	7,932,571
現金及び預金	4,241,274	買掛金	6,008,294
受取手形	12,509	短期借入金	50,000
売掛金	11,013,984	未払金	494,239
有価証券	300,000	未払事業所税	19,784
商品及び製品	142,293	未払消費税等	352,179
原盤等利用権	1,908,340	未払費用	102,095
原材料	167,316	前受金	47,132
制作勘定	1,099,617	預り金	75,261
仕掛品	112,488	預り保証金	6,821
前払金	462,875	賞与引当金	761,000
前払費用	88,730	契約保証損失引当金	13,080
未収入金	21,420	為替予約	2,683
繰延税金資産	427,391	固定負債	2,307,512
その他	66,916	退職給付引当金	1,978,366
貸倒引当金	△ 6,600	資産除去債務	301,426
固定資産	4,890,621	その他	27,720
有形固定資産	1,438,016	負債合計	10,240,084
建築物	485,966	(純資産の部)	
構築物	12,602	株主資本	14,715,601
機械装置	937	資本金	1,250,000
工具器具備品	215,008	利益剰余金	13,465,601
土地	4,637	利益準備金	312,500
建設仮勘定	718,864	その他利益剰余金	13,153,101
無形固定資産	151,512	事業維持積立金	10,000,000
ソフトウェア	134,508	権利取得資金積立金	500,000
その他	17,004	次世代放送推進積立金	500,000
投資その他の資産	3,301,091	ロケ施設整備積立金	500,000
投資有価証券	667,797	国際展開推進積立金	500,000
関係会社株式	571,997	次世代システム構築積立金	200,000
施設借用保証金	787,539	繰越利益剰余金	953,101
繰延税金資産	587,950	評価・換算差額等	△ 6,505
保険積立金	432,004	その他有価証券評価差額金	△ 4,643
その他	281,060	繰延ヘッジ損益	△ 1,861
貸倒引当金	△ 27,258	純資産合計	14,709,095
資産合計	24,949,179	負債・純資産合計	24,949,179

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示している。

損 益 計 算 書

〔 自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月 31日 〕

(単位 千円)

科 目	金 額	
売 上 高		55,285,650
売 上 原 価		49,883,467
売 上 総 利 益		5,402,182
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		4,738,361
営 業 利 益		663,820
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	1,767	
有 価 証 券 利 息	2,937	
受 取 配 当 金	474,038	
雑 収 入	71,570	550,312
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	299	
固 定 資 産 除 却 損	5,473	
為 替 差 損	21,288	
雑 損 失	138	27,200
経 常 利 益		1,186,932
税 引 前 当 期 純 利 益		1,186,932
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	317,607	
法 人 税 等 調 整 額	42,670	360,278
当 期 純 利 益		826,654

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示している。

株主資本等変動計算書

〔 自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日 〕

(単位 千円)

	株 主 資 本							
	資 本 金	利 益 剰 余 金						
		利益準備金	その他利益剰余金					
			事業維持積立金	事業基盤整備積立金	権利取得資金積立金	次世代放送推進積立金	ロケ施設整備積立金	国際展開推進積立金
平成29年4月1日残高	1,250,000	312,500	10,000,000	500,000	500,000	500,000	200,000	500,000
当事業年度中の変動額								
事業基盤整備積立金の取崩し				△500,000				
ロケ施設整備積立金の積立							300,000	
次世代システム構築積立金の積立								
剰余金の配当								
当期純利益								
株主資本以外の項目の当事業年度中の変動(純額)								
当事業年度中の変動額合計	-	-	-	△500,000	-	-	300,000	-
平成30年3月31日残高	1,250,000	312,500	10,000,000	-	500,000	500,000	500,000	500,000

	株 主 資 本				評 価 ・ 換 算 差 額 等			純 資 産 計 合
	利 益 剰 余 金			株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
	その他利益剰余金		利益剰余金合計					
	次世代システム構築積立金	繰越利益剰余金						
平成29年4月1日残高	-	1,924,706	14,437,206	15,687,206	△4,797	△1,372	△6,169	15,681,036
当事業年度中の変動額								
事業基盤整備積立金の取崩し		500,000	-	-				-
ロケ施設整備積立金の積立		△300,000	-	-				-
次世代システム構築積立金の積立	200,000	△200,000	-	-				-
剰余金の配当		△1,798,259	△1,798,259	△1,798,259				△1,798,259
当期純利益		826,654	826,654	826,654				826,654
株主資本以外の項目の当事業年度中の変動(純額)					153	△489	△335	△335
当事業年度中の変動額合計	200,000	△971,605	△971,605	△971,605	153	△489	△335	△971,940
平成30年3月31日残高	200,000	953,101	13,465,601	14,715,601	△4,643	△1,861	△6,505	14,709,095

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示している。

個 別 注 記 表

記載金額は千円未満を切り捨てて表示している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

① 満期保有目的の債券…………… 償却原価法（定額法）

② その他有価証券

時価のあるもの…………… 期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

時価のないもの…………… 移動平均法による原価法

③ 子会社株式および関連会社株式

…………… 移動平均法による原価法

(2) デリバティブの評価基準および評価方法

デ リ バ テ ィ ブ …… 時価法

(3) たな卸資産の評価基準および評価方法

商品及び製品、原材料 …… 総平均法による原価法（貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

制作勘定、仕掛品 …… 個別法による原価法（貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

原盤等利用権 …… 見積回収期間にわたり、会社所定の償却率により償却している。（貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

(4) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産…………… 定率法

(リース資産を除く) ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降取得した建物附属設備及び構築物については定額法による。

無形固定資産…………… 定額法

(リース資産を除く) なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいている。

リース資産…………… 定額法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。

(5) 引当金の計上基準

貸倒引当金…………… 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については、貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

賞与引当金…………… 従業員に対する賞与の支給に充てるため、当事業年度に対応する支給見込額を計上している。

契約保証損失引当金…………… 仕入契約に係る将来の損失に備えるため、当事業年度末現在契約期間中の仕入契約のうち精算損の発生が見込まれ、かつ、その金額を合理的に見積もることができる契約について、損失見込額を計上している。

退職給付引当金…………… 従業員の退職給付に備えるため、退職給付に係る会計基準に規定されている簡便法に基づき、当事業年度末における自己都合要支給額および退職給付債務より年金資産を控除した金額を計上している。

(6) ヘッジ会計の方法

- ① ヘッジ会計の方法 …………… 繰延ヘッジ処理による。なお、振当処理の要件を満たしている為替予約取引については振当処理を採用している。
- ② ヘッジ手段とヘッジ対象
 - ・ヘッジ手段 …………… 為替予約取引
 - ・ヘッジ対象 …………… 相場変動等による損失の可能性がある輸入取引
- ③ ヘッジ方針 …………… 当社の行うデリバティブ取引は、原則実需の範囲内で支払円貨額を確定することを目的としている。
- ④ ヘッジの有効性評価の方法 …… ヘッジ手段の内容とヘッジ対象の重要な内容が同一であることから、ヘッジ対象の相場変動または、キャッシュ・フロー変動をヘッジ手段が完全に相殺するものと考えられるため、有効性の判定を省略している。

(7) 消費税等の処理の方法

消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっており、控除対象外消費税等は当事業年度の期間費用としている。

2. 会計上の見積りの変更

(資産除去債務の見積額の変更)

当事業年度において、不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、ワープステーション江戸の拡張工事に伴い、当該施設の返還時に必要とされる原状回復費用及び当該施設の使用見込期間に関して見積りの変更を行っている。

見積りの変更による増加額 146,808 千円を変更前の資産除去債務残高に加算している。

なお、この見積りの変更による損益に与える影響はない。

3. 貸借対照表関係の注記

- (1) 有形固定資産の減価償却累計額 …… 1,172,846 千円
- (2) 関係会社に対する金銭債権および債務
 - ① 短期金銭債権 …… 8,857,823 千円
 - ② 短期金銭債務 …… 1,371,103 千円

4. 損益計算書関係の注記

関係会社との取引高

- ① 営業取引による取引高
 - ・ 売 上 高 …… 44,027,838 千円
 - ・ 仕 入 高 …… 5,457,733 千円
 - ・ 販売費及び一般管理費 …… 33,212 千円
- ② 営業取引以外の取引による取引高
 - ・ 営 業 外 収 益 …… 19,162 千円

5. 株主資本等変動計算書に関する注記

- (1) 発行済株式の総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 株 式 数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株 式 数
普通株式	5,894 株	—	—	5,894 株

- (2) 自己株式の数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 株 式 数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株 式 数
普通株式	—	—	—	—

- (3) 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

平成29年6月27日開催第28回定時株主総会決議による配当に関する事項

- ・ 配当金の総額 1,798,259 千円
- ・ 配当の原資 利益剰余金

・ 1株当たり配当金額	305,100円
・ 基準日	平成29年3月31日
・ 効力発生日	平成29年6月28日

(4) 当事業年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項

平成30年6月26日開催第29回定時株主総会に、次のとおり付議する予定である。

・ 配当金の総額	449,712千円
・ 配当の原資	利益剰余金
・ 1株当たり配当金額	76,300円
・ 基準日	平成30年3月31日
・ 効力発生日	平成30年6月27日

6. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産および繰延税金負債の主な発生原因別の内訳

繰延税金資産

賞与引当金	233,018千円
退職給付引当金	587,409千円
たな卸資産評価損	133,172千円
貸倒引当金	10,367千円
出資評価損	68,228千円
その他投資評価損	54,056千円
販売放映権評価損	15,390千円
資産除去債務	45,560千円
繰延ヘッジ損益	821千円
その他有価証券評価差額金	2,049千円
その他	73,008千円
繰延税金資産小計	1,223,083千円
評価性引当額	△139,105千円
繰延税金資産合計	1,083,978千円

繰延税金負債	
前払年金費用	△68,636 千円
繰延税金負債合計	△68,636 千円
繰延税金資産の純額	1,015,341 千円

7. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

①金融商品に対する取組方針

当社は、原則として安全性の高い運用を基本とする資金運用規程に基づき、短期運用の預金と満期保有の公社債等を運用している。また、輸入取引の相場変動リスクを回避するためにデリバティブを利用しており、投機的な取引は行わない方針である。

②金融商品の内容およびそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である受取手形および売掛金は、顧客の信用リスクにさらされている。当該リスクに関しては、当社の経理規程に従い、取引先ごとの期日管理および残高管理を行う体制としている。

有価証券および投資有価証券は、主に満期保有目的の債券、非上場株式である。

営業債務である買掛金は、そのほとんどが1年以内の支払期日である。また、営業債務である買掛金は、流動性リスクにさらされているが、当社では月次で資金計画を作成するなどの方法により管理している。

輸入取引におけるデリバティブの執行・管理については、実需に基づいた取引に限って行っている。

③金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

「(2) 金融商品の時価等に関する事項」におけるデリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではない。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成30年3月31日における貸借対照表計上額、時価およびこれらの差額については次のとおりである。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めていない。

(単位 千円)

	貸借対照表 計上額 (※3)	時価 (※3)	差額
現金および預金	4,241,274	4,241,274	—
受取手形および売掛金 (※1)	11,019,894	11,019,894	—
有価証券および投資有価証券	593,118	597,939	4,820
資産計	15,854,287	15,859,108	4,820
買掛金	(6,008,294)	(6,008,294)	—
負債計	(6,008,294)	(6,008,294)	—
デリバティブ取引 (※2)	(2,683)	(2,683)	—

(※1) 受取手形および売掛金に対応する貸倒引当金を控除している。

(※2) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、() で示している。

(※3) 負債に計上されているものについては、() で示している。

(注1) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券およびデリバティブ取引に関する事項

資 産

①現金および預金、並びに受取手形および売掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっている。

②有価証券および投資有価証券

これらの時価については、債券は取引所の価格または取引金融機関から提示された価格によっている。

負債

買掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっている。

デリバティブ（ヘッジ会計が適用されているもの）

ヘッジ会計の方法ごとの決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額等は、次のとおりである。

ヘッジ会計の方法	デリバティブ取引の種類	主なヘッジ対象	契約額等		時価
				1年超	
原則的処理	為替予約取引 米ドル買建	買掛金	5,930千\$	—	2,653千円 (※1)
原則的処理	為替予約取引 ユーロ買建	買掛金	25千€	—	29千円 (※1)
為替予約の 振当処理	為替予約取引 米ドル買建	買掛金	104千\$	—	(※2)
為替予約の 振当処理	為替予約取引 ユーロ買建	買掛金	82千€	—	(※2)

(※1) 時価の算定方法

取引先金融機関等から提示された価格等に基づいて算定している。

(※2) 為替予約の振当処理によるものは、ヘッジ対象とされている買掛金と一体として処理されているため、その時価は、当該買掛金の時価に含めて記載している。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位 千円)

区分	貸借対照表計上額
非上場株式	374,678
関係会社株式	571,997

これらについては、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、「有価証券および投資有価証券」には含めていない。

8. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社および法人主要株主等

(単位 千円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注3)	科目	期末残高 (注3)
親会社	日本放送協会	被所有 直接 82.1%	放送番組の 制作等	放送番組の 制作受託 (注1)	43,766,758	売掛金	8,814,048
				放送番組の 二次使用料 等(注2)	1,600,478	買掛金 ・未払金	771,930

取引条件および取引条件の決定方針等

(注1) 放送番組の制作受託料については、市場価格および総原価を勘案して当社希望価格を提示し、価格交渉の上で価格を決定している。

(注2) 放送番組の二次使用料等については、日本放送協会の料率設定に基づいている。

(注3) 取引金額には消費税等は含まず、期末残高には消費税等を含めている。

(2) 子会社および関連会社等

(単位 千円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
関連会社	NHK Cosmomedia America, Inc.	所有 直接 19.9%	放送番組の 制作等	放送番組の 制作等 (注1)	2,543,686	買掛金 ・未払金	538,100

取引条件および取引条件の決定方針等

(注1) 放送番組の制作料については、NHK Cosmomedia America, Inc. より提示された料金を基に市場価格および総原価を勘案して、価格を決定している。

(3) 兄弟会社等

(単位 千円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注5)	科目	期末残高 (注5)
親会社の 子会社	株式会社 NHKアート	所有 直接 8.2% 被所有 直接 2.4%	放送番組の 美術制作等	放送番組の 美術制作委 託等 (注1)	1,666,167	買掛金 ・未払金	152,542
親会社の 子会社	株式会社 NHKメディ アテクノロジー	所有 直接 6.7% 被所有 直接 3.0%	放送番組の 制作技術業 務等	放送番組の 制作技術業 務委託等 (注2)	2,799,712	買掛金 ・未払金	490,880

親会社の子会社	株式会社 NHKエデュ ケーションナル	所有 直接 10.5% 被所有 直接 2.4%	商品の購入 等	商品の購入 等（注3）	961,063	買掛金 ・未払金	189,650
親会社の子会社	株式会社 NHKビジネ スクリエイト	所有 直接 6.4%	建物の賃借 等	建物の賃借 等（注4）	638,453	前払費用	43,883
						施設借用 保証金	715,167

取引条件および取引条件の決定方針等

- （注1）放送番組の美術制作料については、株式会社NHKアートより提示された料金を基に市場価格および総原価を勘案して、価格を決定している。
- （注2）放送番組の制作技術料については、株式会社NHKメディアテクノロジーより提示された料金を基に市場価格および総原価を勘案して、価格を決定している。
- （注3）商品の購入については、株式会社NHKエデュケーションナルより提示された料金を基に市場価格および総原価を勘案して、商品ごとに価格を決定している。
- （注4）建物の賃借料については、株式会社NHKビジネスクリエイトより提示された料金を基に市中の不動産賃借価格を勘案の上、交渉により価格を決定している。
- （注5）取引金額には消費税等は含まず、期末残高には消費税等を含めている。

9. 1 株当たり情報に関する注記

（1）1株当たり純資産額	2,495,604 円	99 銭
（2）1株当たり当期純利益	140,253 円	53 銭

10. 重要な後発事象に関する注記

該当なし

独立監査人の監査報告書

平成30年5月17日

株式会社NHKエンタープライズ

監査役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

薄井 誠 (印)

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士

伊澤賢司 (印)

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社NHKエンタープライズの平成29年4月1日から平成30年3月31日までの第29期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監 査 報 告 書

当監査役会は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの第29期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役会規則及び監査役監査規程等の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査・リスク管理部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
 - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。
 - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
 - ③ 事業報告に記載されている会社法施行規則第118条第5号イの留意した事項及び同号ロの判断及び理由については、取締役会その他における審議の状況等を踏まえ、その内容について検討を加えました。
 - ④ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類(貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表)及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。
- ④ 事業報告に記載されている親会社等との取引について、当該取引をするにあたり当社の利益を害さないように留意した事項及び当該取引が当社の利益を害さないかどうかについての取締役会の判断及びその理由について、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成30年5月18日

株式会社 NHKエンタープライズ 監査役会

常勤社外監査役

木村弘巳

印

常勤監査役

吉田哲彦

印

社外監査役

古椀裕章

印

監査役

松尾光洋

印